

## 令和7年8月定例教育委員会議録

1. 日 時 令和7年8月6日（水）午後2時00分
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員  
教育長 奥 真弥  
教育長職務代理者 石崎 貴朗  
委 員 谷口 朋  
委 員 形部 博紀  
委 員 角 竜一  
委 員 川上 智子
4. 説明のために出席した職員の職、氏名  
教育部長 南 幸代  
日本遺産推進担当理事 中岡 勝  
読書活動推進担当理事 大引 要一  
学校給食担当理事 田中 伸宏  
泉州国際マラソン担当理事 山路 功三  
教育総務課長 鍵埜 和弘  
教育総務課教育総務担当参事 山本 建志  
教育総務課教職員担当参事 宮本 勝久  
教育総務課夜間中学校担当参事 本道 篤志  
学校教育課長 長田 龍介  
学校教育課学校指導担当参事 辻本 武司  
学校教育課人権教育担当参事 渡辺 健吾  
生涯学習課読書活動推進担当参事 細矢 祥代  
スポーツ推進課泉州国際マラソン担当参事 池田 秀明  
スポーツ推進課スポーツ推進担当参事 檜葉 浩司  
文化財保護課世界農業遺産担当参事 高橋 和也  
(庶務係) 教育総務課総務係長 室 拓二
5. 本日の署名委員 委 員 石崎 貴朗

## 議事日程

### (報告事項)

報告第24号 教育委員会後援申請について

報告第25号 教育委員会後援実施報告について

(午後2時00分開会)

## 奥教育長

ただ今から令和7年8月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

本日は甚野委員が欠席しておりますが、会議は成立しております。

本日の会議録署名委員は石崎委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、本日の審議に入ります前に、7月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。委員の皆様で何かお気づきの点がありましたら、お願いいたします。

無いうでございしますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、形部委員は後ほど署名をお願いします。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

はじめに報告第24号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

## 鍵埜教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料24に基づいて説明。

新規5件、継続7件、計12件の事業内容について一括で報告。

## 奥教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

## 形部委員

上から3番目の「～岬町・阪南市・泉南市・泉佐野市をつなぐ～ 第5回阪南クロスカントリー&ウォークトライアル」につきまして、岬町から泉佐野市までの市町で、幅広い年齢層の方を対象とされていると説明がありましたが、募集人数はどのくらいでしょうか。

## 山路泉州国際マラソン担当理事

参加人数は500人から600人を予定しているとお聞きしております。

## 奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

#### 谷口委員

2 ページ目、下から 1 番目の「はぐら夕涼み会 3」につきまして、主催の「Happy Go Lucky」さんは様々なマルシェも主催されている団体であったと思いますが、最近は町会もこのようなイベント企画運営を行っている団体に、行事の開催を委託する傾向にあるのでしょうか。

#### 大引読書活動推進担当理事

こちらにつきまして、昨年に引き続き 2 回目の後援申請のため継続事業となりますが、本来の主催団体は末広地区 7 町会と末広地区福祉委員会となっております。教育委員会の後援名義申請も本来であれば、末広地区 7 町会と末広地区福祉委員会からご提出いただく必要がありますので、今回の申請にあたって指導させていただいております。町会側からは、イベント運営の委託をしているため、運営業者が後援名義使用の申請を行ってもよいのではないかというご意見はいただきましたが、あくまでも主催者は町会であるため、基本的には町会から申請してほしいとお伝えし、今年度まではこちらの形で申請をいただいております。Happy Go Lucky につきましては、谷口委員のおっしゃる通り、りんくうアイスパークでのマルシェの事業等も展開されている団体となります。令和 5 年 8 月の定例教育委員会でも報告させていただいた通り、こちらの団体は以前より後援名義使用申請にかかる書類の提出について、期限を超過することが幾度かありました。今回も期限間際のタイミングでお話がありましたので、私の方から末広町会に書類の提出をお願いしました。町会で決まっていることについて書類をいただければ私の方で調整をするので、後援名義使用の申請にかかる書類を急ぎ提出してほしいとお伝えし、ご対応いただいております。ご質問いただいている町会が行事の開催を委託する傾向にあるかについては、こちらで把握できておりませんが、今回の委託について町会に経緯を尋ねたところ、昨年のはぐら夕涼み会の開催にあたって、運営する団体が減少してきているという話を聞いて、Happy Go Lucky 側から申し出があったということです。ただ、委託にかかる費用は発生しておりません。末広町会としても、営利団体にこのような委託を行えるほどの潤沢なお金があるわけではありませんので、あくまでもボランティアとして Happy Go Lucky は泉佐野市の町会の仕事を受けているという説明は受けています。

#### 奥教育長

本来であれば、こちらの主催の欄には末広地区 7 町会と記載されなければならないということですね。

#### 大引読書活動推進担当理事

昨年も Happy Go Lucky を主催者として申請をいただいておりますが、書類の不備があり、期限に間に合っていなかったかと思います。期限に間に合わなければ、来年申請をいただいても承認できませんとお伝えさせていただきました。今年も Happy Go Lucky から申請をいただきましたが、定例教育委員会への報告が本日で、資料にある通り開催は明日になりますので、期限に間に合わない旨を Happy Go Lucky にお伝えさせていただいたところ、今度は町会側が間に入ってやりとりしていただくことになりました。町会としてお手続きいただければ話が早く進みますので、今後は町会として後援名義使用の申請手続きを行っていただくようにお伝えさせていただいております。

奥教育長

来年も Happy Go Lucky から申請があればそのように対応してください。

大引読書活動推進担当理事

来年は最初から町会と連携をとり、町会からご提出いただくようにいたしますので、このような事態が起こらないようにいたします。

谷口委員

どちらの自治会も担い手の不足から、大小を問わず、いざイベントを開催するとなれば準備にも手間がかかり、イベント自体が縮小や中止となる傾向にある中で、開催を委託してでも実施するという意義はあると思いますが、私自身の考え方が古いかもしれませんが、そのような大変なことを町内の皆で話し合いながら実施するからこそ、地域の絆が深まるのではないかという思いもあります。

奥教育長

そういうことですね。私の住んでいる地域ではなんとか自分たちの力で行事を開催できておりますが、このような問題はどちらの地域でもあると思います。今回の件について、イベントの開催が Happy Go Lucky へ完全に委託されているのであれば、後援名義使用の承認をしないといったことも考えられたのでしょうか。

大引読書活動推進担当理事

こちらの申請をいただいた際、町会にも確認しておりまして、今回のイベントの開催において末広地区の7町会が全く関わっていないというわけではございませんでした。このイベントの佐野くどきの部分、盆踊りの部分は町会がしっかりと関わっています。

奥教育長

盆踊りには子ども会の方も関わってくださっていますね。

大引読書活動推進担当理事

子ども会も含めて地域の皆様にご参加いただいておりますので、Happy Go Lucky はどちらかと言えば、夜店などの人の賑わう方を受託している形になります。チラシには主催者が末広地区7町と末広地区福祉委員会、運営が Happy Go Lucky とあるにもかかわらず、後援名義使用の申請においては主催者が Happy Go Lucky となっているため、状況が複雑になっています。また、チラシには「盆踊りもやるよ!」と記載がありますが、このイベントの主体は盆踊りとなっていることを町会からお聞きしています。来年も今年と同じように開催すると思われまますので、Happy Go Lucky から事業の報告をいただくのは構いませんが、あくまでも主催者は町会という形で今後は申請をいただくようにいたします。

奥教育長

はじめから、その形で申請をいただければ問題ありませんね。

よろしいですか。他にございませんか。

無いうでございますので、以上で報告第24号を終わります。

次に、報告第25号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。報告をお願いします。

鍵埜教育総務課長

報告第25号「教育委員会後援実施報告について」ご説明いたします。

報告資料25「教育委員会後援実施報告一覧表」をご覧ください。

報告件数は今回11件でこれらは以前に教育委員会で後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料25をもって報告にかえさせていただきます。

奥教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

無いうでございますので、以上で報告第25号を終わります。

続きましてその他で何かございますか。

本道教育総務課夜間中学校担当参事

お手元の方にチラシを配布させていただいておりますのでご覧ください。佐野中学校夜間学級について、生徒の追加募集をいたします。募集期間は令和7年8月25日（月）から9月10日（水）までとなっておりますので、またお知り合いの方にお知らせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

奥教育長

ただ今の佐野中学校夜間学級の生徒募集につきまして、ご質問がございましたらお願いします。

佐野中学校夜間学級も様々な社会資源を活用して、多様な取り組みをしてくれています。現在の生徒数は何名でしょうか。

本道教育総務課夜間中学校担当参事

今年度当初は89名でしたが、欠席が多くなっている方を一旦除籍しております。ご本人の意思としては夜間学級への通学を継続したいということですが、夜間学級への通学は通算で最大6年となり、欠席が多くなると勿体ないこと、いつでも再入学は可能であることから、一旦除籍としております。除籍となった方が8名で、現在の生徒数は81名となっております。

奥教育長

他にございませんか。

## 大引読書活動推進担当理事

事前に事務局から配布させていただいております図書館だより2025年8月号の2ページ目上段をご覧ください。システム更新のため、令和7年9月1日（月）から9月30日（火）まで、泉佐野市立図書館が休館するというお知らせでございます。中央図書館、佐野公民館図書室、長南公民館図書室、日根野公民館図書室、北部公民館図書室、移動図書館、佐野まちライブラリーの7か所全てが休館となります。休館理由につきまして、図書貸出システムの入れ替えとなりますが、入れ替えに伴い、便利な機能が追加されます。まず、自動貸出機を導入いたします。これまで本を借りる際は、図書と貸出カードを持って、有人カウンターにて手続きを行う必要がありました。借りたり読んだりしている本について他人に知られたくない場合、対人で手続きを行うことが障害となっておりました。現状でも予約ロッカーでの貸出は対人の手続きではありませんが、本を探すことから始まる図書館として、利用者が他人に見られることなく本を借りることができるということが、自動貸出機を導入する最も重要な理由です。もちろん、自動貸出機を導入することによって、窓口での手続きを行うことなく、本を自動貸出機で読み取るだけで本を借りることができるようになるため、便利にもなります。また、貸出カードのスマートフォンとの連携が可能となりますので、貸出カードを忘れても、スマートフォンがあれば貸出が可能となります。さらに、貸出カードのLINE連携も実施する予定です。泉佐野市立図書館の公式LINEアカウントを作成する予定で、こちらのアカウントに登録していただくと、LINEから貸出カードが確認できるようになりますので、こちらでも貸出が可能となります。最後に、読書通帳についての機能追加となります。子ども達にも大人の方にも読書通帳をお配りしておりますが、現在は読んだ本を自身で読書通帳にご記入いただくことになっていますが、システム入れ替えに伴い、OPACという検索機から借りた本のシールが発行されるようになります。そちらを読書通帳に貼り付けていただければ、手書きでの記入が不要となります。来年度は学校図書館の整備工事を実施することを検討しており、その際にシステムを全て入れ替えることを検討しておりますが、学校図書館でもこれまで説明いたしました機能を導入したいと考えております。機能追加によって、少しでも図書を借りる、借りた本を記録することに繋がっていきたいと考えております。臨時休館中は図書の返却は可能ですが、新しく図書を借りることができないため、8月1日（金）から8月末までの期間に30冊5週間の貸し出しを実施いたします。休館中もいつでもポストに返却していただくことは可能です。また、電子図書館は休館中もご利用可能です。1ヶ月間、全ての図書館が休館となりご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

## 奥教育長

ただ今の泉佐野市立図書館の休館につきまして、ご質問がございましたらお願いします。

## 石崎委員

貸出カードをスマートフォンと連携すると説明がありましたが、子ども達等のスマートフォンを持っていない方はこれまで通り貸出カードを使用するのでしょうか。

大引読書活動推進担当理事

おっしゃる通り、スマートフォンをお持ちでない方はこれまで通り貸出カードを使用する形となります。スマートフォンやLINEとの連携が開始しても、貸出カードの情報をスマートフォンやLINEから参照し、貸出カードの代わりに手続きに使用することができるようになりますが、貸出カードそのものがなくなるというわけではございません。

石崎委員

これまで使用している貸出カードで図書を借りることができるのですか。

大引読書活動推進担当理事

これまで使用していただいている貸出カードを引き継いで使用しますので、大丈夫です。

石崎委員

読書通帳について、大人はどのようにしたら貰えるのでしょうか。

大引読書活動推進担当理事

毎年11月の読書活動推進月間に、市内全体で1500冊ほどお配りしております。昨年頃から余りが出ており、泉佐野市立中央図書館に在庫がございますので、窓口で読書通帳が欲しい旨をお伝えいただければ貰っていただけるようになっております。

谷口委員

今回の図書館だよりについて、内容がとても面白かったと思います。「鈍器本に挑む」といった言葉の言い回しがとても面白いと感じました。現在、印刷で配布されているのはピンク1色になっていると思いますが、カラーの方が見やすいと感じました。図書館だよりについては、例えば泉佐野市の公式LINE等では配信される等はしているのでしょうか。

大引読書活動推進担当理事

泉佐野市の公式LINEでは配信しておりません。図書館だよりは毎月発行しておりますので、折角ですから谷口委員のおっしゃるように、泉佐野市の公式LINEで配信できるように関係部署と連携を取るようにいたします。

奥教育長

泉佐野市立図書館の公式LINEを作るということでしたが、そちらで配信するのはどうでしょうか。

大引読書活動推進担当理事

泉佐野市立図書館の公式LINEも作りますが、図書館の公式LINEで図書館だよりを配信するよりも、泉佐野市の公式LINEで配信した方が、登録者数が多いため、より多くの方に届くと思われます。図書館の公式LINEは予約や連絡事項等、これまでメールで配信していたものをLINEに切り替

えて配信するようなものになりますので、どちらかと言えば、谷口委員のおっしゃるように、泉佐野市の公式 LINE で配信する方が、より効果が高くなると思われます。また研究して対応いたします。

奥教育長

他にございませんか。

形部委員

7月29日（火）から8月1日（金）までのベトナム友好交流派遣事業につきまして、折角なのでこの場で感想をお伝えさせていただきます。今年は男子2名と女子8名、計10名の中学2年生と共にベトナムへ行かせていただきました。私は事前学習から参加させていただきましたが、はじめは皆が緊張してなかなか打ち解けられていない様子で、英語で行う泉佐野市のPRも、事前学習の段階ではうまく話せない生徒もいましたが、事前学習からベトナムへの派遣までの短い期間で、生徒達は自己学習にも取り組んでおり、現地でベトナム人の高校生を相手に行う泉佐野市のPRはとても流暢な英語で伝えることができていました。私としても、子ども達の成長を垣間見ることができて良かったと思っています。生徒達は特に大きな事故もなく、皆が楽しかったと言って帰ってくるので、そちらも良かったと思っています。

奥教育長

どうもご苦勞様でした。ありがとうございました。

他にございませんか。

無いようですので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。

次回の9月の定例教育委員会議は令和7年9月3日水曜日、午後3時30分から、市役所4階庁議室で開催いたします。

それではこれをもって本日の会議は終了いたします。

（午後14時37分閉会）